

13. 語法(自動詞と形容詞)

正解: ア. asleep

・解説: 「fall asleep」で「寝入る、眠りに落ちる」という決まった表現である。fallはここでは連結動詞(SVCを作る動詞)として機能しており、補語(C)には形容詞がくる。asleepは「眠っている」という状態を表す形容詞である。

14. 否定語句の倒置

正解: ア. had Henry come

・解説: 「No sooner A than B(AするとすぐにBした)」という構文である。否定語のNo soonerが文頭に出ているため、後ろは**<疑問文と同じ語順>**に倒置しなければならない。また、時制は「than以下の過去形(checked)」よりも前の出来事を示すため、過去完了形(had + 過去分詞)を用いる。

15. 分詞形容詞(前置詞的用法)

正解: ウ. concerning

・解説: concerningは「～に関する」という意味の分詞から派生した前置詞である。aboutとほぼ同義だが、より形式ばった表現になる。concerned(心配している、関係している)を後置修飾で使う場合は「problems concerned(関係している問題)」となるが、後ろにglobal warmingという目的語を直接取ることはできない。

16. 語形変化(形容詞)

正解: ア. economical

・解説: 名詞wayを修飾する形容詞が必要な箇所である。

・economical: (節約になる、安上がりな)

・economic: (経済学の、経済上の)

ここでは「自転車は安上がりな輸送手段だ」という意味が通るため、economicalが適切である。

17. 動詞の語法と時制

正解: イ. had passed

・解説: 「(時間が)経過する」という意味のpassは自動詞である。したがって受動態(ア、ウ)にはならない。また、兵士が発見された(was found)時点ですでに10年が経過していたという時間的前後関係を示すため、過去完了形(had passed)にする必要がある。

18. 関係代名詞(非制限用法)

正解: イ. which

・解説: コンマ(,)の後に続く非制限用法の関係代名詞の問題である。先行詞は「three days」であり、後ろの文「I found [three days] quite generous(3日間というのはかなり寛大だと思った)」の目的語の役割を果たしている。したがって、目的格の関係代名詞whichが正解となる。

19. 付帯状況のwith

正解: イ. open

解説: 〈with + O + C〉の形で「OがCの状態で」という付帯状況を表す。ここでは「傘(umbrellas)が全開の状態で」という意味になる。openは形容詞で「開いている」という状態を表すため、補語(C)としてそのまま置くことができる。

注意: 「開けられた」という動作の完了を強調したい場合はopenedもあり得るが、傘が開いている状態を記述する場合は形容詞のopenを用いるのが一般的である。

20. 否定の同意

正解: エ. neither is her husband

・解説: 「Aもまた～ない」という否定の同意を表す形である。

・肯定文への同意: So + 動詞 + 主語

・否定文への同意: Neither + 動詞 + 主語

前の文が「Lisa is not...」とbe動詞を用いた否定文であるため、後ろもbe動詞を引き継ぎ、主語(her husband)に合わせて「neither is her husband」となる。